

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '高齢者学級事業' and '生涯学習・芸術文化活動の推進'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes implementation details for fiscal year 27.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④活動指標/⑤対象指標/⑥成果指標. Shows metrics for '学習会等開催回数' and '学習会等延べ参加人数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員従事人数, 人件費).

Table showing internal cost breakdown for 27 and 28 fiscal years, categorized by expense type (報償費, 旅費, 使用料).

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 28年度, 29年度, and 30年度の事業内容. Includes a note about recording content and a list of main activities.

事務事業名	高齢者学級事業	事務事業No.	30201000609	所属課	生涯学習課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 高齢者が生きがいを持って豊かな生活をするために、昭和40年ごろに始まったと思われる。 学級開始当時の対象者は60歳以上であったが、現在は65歳以上を対象としている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 学級生(対象者)には、大変好評である。(特に郷土史講座や移動教室) しかし、社会福祉協議会においても高齢者を対象とした事業を開催しており、対象者の中には異なる二つの事業を混同してしまっている方も見受けられる。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 合併後も真壁地区だけでの実施であるため、市全体の高齢者を対象とするか、類似する他の部署・機関が実施する事業への統一が必要であると思われる。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者の生涯学習・芸術文化活動の充実に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 高齢者が生きがいを持って生活することにより、健康増進につながる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現在、真壁地区のみである対象地域をし全体に拡大することで、参加者の増加につながると考えられる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者が生きがいを感じて生活するための学習機会がなくなってしまうので、影響あり。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 社会福祉協議会「生き生きサロン」 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 高齢福祉課から事業委託を受けている社会福祉協議会の事業との統合を視野に検討していくべきである。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 現在、僅かながらも参加者から参加費用をもらっているため、その割合を増やし、一般財源からの支出を減らすなどの余地はあると考える。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象者が真壁地区に限定されているため、市内全域の高齢者を対象とした事業展開をしていくべきであると考えられる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業自体は、好評である。しかし、対象が真壁地区のみと限定されており、公正・公平の原則に反しているため、来年度より対象を岩瀬・大和地区にまで拡大する計画である。																						
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(3) 今後の事業の方向性																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 対象が真壁地区に限定されており、公平・公正の原則に反しているため、来年度より岩瀬地区・大和地区の高齢者にまで対象を拡大する計画である。 そのために、各地区の区長にご協力いただき、地域内の老人会等高齢者への趣旨説明などを行っていく必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	③																					
		コスト削減優先度評価結果	⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>